

報告第1号

株式会社道の駅あいの土山の経営状況の報告について

株式会社道の駅あいの土山の経営状況は別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定によりこれを報告する。

令和5年2月16日

甲賀市長 岩永裕貴

# 第24期事業報告書

(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

株式会社道の駅あいの土山

滋賀県甲賀市土山町北土山2900番

## 第 24 期業務及び営業報告

当社第 24 期（令和 3 年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日）の業務と営業概要につきましてご報告申し上げます。

当社は、平成 5 年に国交省から道の駅の登録をうけ、滋賀の東の玄関口として道の駅の 3 つの機能といわれる休憩機能、地域の連携機能、情報発信の機能の発揮に努めてまいりました。また、交通事情や天候、景気によっても経営状況が大きく左右される施設であることに加え、今期も前期同様、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、その対策をとりながら営業を行ってきました。コロナ禍とはいえ、売上高、来客数ともに前期に比べて増加いたしました。

近畿内の道の駅を 3 年間で回っていただくスタンプラリーは継続し、滋賀県の道の駅は、非接触で実施できるスタンプラリーを計画し実施いたしました。新しい試みではありましたが、参加者も多数ありあらためて道の駅めぐりのきっかけになったと思っております。また近鉄百貨店で地元特産品を販売する事業にも参加し土山茶、お米などの農産物の PR 活動もおこないました。消費者の食の安全・安心の意識が向上する中、滋賀県が推奨する「みずかがみ」や「こしひかり」などのこだわり米や新鮮な地元野菜等の販売を充実させお客様に安心していただけるものが提供できるように努力してまいりました。全国植樹祭に向けて「オール甲賀盛り上げ事業」を活用し、木葉書の配布やコミュニティスクールとなっております土山小学校の児童の絵画を展示し地元の事業、活動に積極的に取り組んでまいりました。

次に、営業報告についてであります。年間来客数は、126,500 人で 1 ヶ月平均来客数 10,542 人でありました。今期の収益については、物産館売上で 6,234 万 3 千円、レストラン売上では 1,648 万 1 千円で、合計 7,882 万 5 千円となり、前期売上 6,735 万 6 千円に対し、1,146 万 9 千円の増で前期比較 117.0%となりました。

今期における営業利益金額は、▲312 万 4 千円となり、自動販売機やふれあい市などの手数料である営業外収益 297 万 6 千円を加えますと経常損益金額は▲14 万 7 千円となり、前期▲458 万 7 千円に対し、444 万円の増加です。なお、特別利益、法人税等を控除した当期純損益金額は、44 万円となりました。

今後も、感染対策をとりながら安心して自由に立ち寄れ、本来の道の駅の機能を失わず、経営面においても増益に向けた更なる努力を傾注する所存であります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 決 算 報 告 書

(第 24 期)

自 令和 3 年 10 月 1 日  
至 令和 4 年 9 月 30 日

株式会社 道の駅あいの土山

滋賀県甲賀市土山町北土山2900

## 貸借対照表

株式会社 道の駅あいの土山

令和 4年 9月30日 現在

単位：円

### ( 資 産 の 部 )

【流 動 資 産】

現金及び預金	56,415,049
売掛金	1,768,401
商品	483,010
貯蔵品	36,960
未収入金	102,299

流動資産合計

58,805,719

【固 定 資 産】

(有形固定資産)

建物	1,368,242
構築物	4
工具器具備品	249,667
リース資産	4,118,162

有形固定資産合計

5,736,075

(無形固定資産)

ソフトウェア	53,850
--------	--------

無形固定資産合計

53,850

(投資その他の資産)

出資金	110,000
-----	---------

投資その他の資産合計

110,000

固定資産合計

5,899,925

資 産 合 計

64,705,644

### ( 負 債 の 部 )

【流 動 負 債】

買掛金	3,627,377
未払金	1,055,600
未払費用	2,466,967
未払法人税等	72,200
預り金	42,152

流動負債合計

7,264,296

【固 定 負 債】

長期リース債務	5,137,176
---------	-----------

固定負債合計

5,137,176

負 債 合 計

12,401,472

( 純 資 産 の 部 )

【株 主 資 本】		
資 本 金		10,000,000
(利 益 剰 余 金)		
その他利益剰余金	42,304,172	
別 途 積 立 金	20,000,000	
繰越利益剰余金	22,304,172	
	<hr/>	
利益剰余金合計		42,304,172
株主資本合計		<hr/> 52,304,172
純 資 産 合 計		<hr/> 52,304,172
負債・純資産合計		<hr/> <hr/> 64,705,644

## 損益計算書

株式会社 道の駅あいの土山

自 令和 3年10月 1日  
至 令和 4年 9月30日

単位：円

**【売 上 高】**

物産館売上高	62,343,934	
レストラン売上	16,481,570	78,825,504

**【売 上 原 価】**

期首棚卸高		505,247
物産仕入高	39,811,612	
レストラン仕入高	6,239,309	46,050,921
期末棚卸高		△483,010

売上総利益金額		32,752,346
---------	--	------------

**【販売費及び一般管理費】**

物産給与手当	11,102,882	
レストラン給与	4,872,213	
賞与	1,176,675	
福利厚生費	1,704,714	
通信費	13,650	
交際費	130,180	
減価償却費	1,905,547	
保険料	49,170	
修繕費	68,200	
水道光熱費	5,284,129	
燃料費	46,905	
消耗品費	3,605,709	
租税公課	1,886,470	
広告宣伝費	144,340	
寄付金	9,000	
管理諸費	3,669,082	
雑費	207,671	35,876,537

営業損失金額		△3,124,191
--------	--	------------

**【営業外収益】**

受取利息	725	
受取配当金	438	
雑収入	2,975,738	2,976,901

経常損失金額		△147,290
--------	--	----------

**【特別利益】**

新型コロナ対策支援金		660,000
------------	--	---------

税引前当期純利益金額		512,710
------------	--	---------

法人税、住民税及び事業税		72,200
--------------	--	--------

当期純利益金額		440,510
---------	--	---------

# 株主資本等変動計算書

株式会社 道の駅あいの土山

自 令和 3年10月 1日

至 令和 4年 9月30日

単位：円

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金			利益剰余金合計	株主資本合計	
		その他利益剰余金		繰越利益剰余金			
		別途積立金	利益剰余金				
当期首残高	10,000,000	20,000,000	21,863,662	41,863,662	51,863,662	51,863,662	
当期変動額							
当期繰上利益			440,510	440,510	440,510	440,510	
当期変動額合計	-	-	440,510	440,510	440,510	440,510	
当期末残高	10,000,000	20,000,000	22,304,172	42,304,172	52,304,172	52,304,172	

## 個別注記表

株式会社 道の駅あいの土山

自 令和 3年10月 1日

至 令和 4年 9月30日

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

法人税の規定に基づく定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については、法人税法の規定に基づく旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法を採用しております。

##### (2) リース資産

法人税法の規定に基づくリース期間定額法を採用しております。

#### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

#### 資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

### 貸借対照表等に関する注記

#### 有形固定資産の減価償却累計額の金額

14,520,297円

### 株主資本等変動計算書に関する注記

#### 発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式） 100株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式） 100株

前期末株式数（発行済優先株式）

当期増加株式数（発行済優先株式）

当期減少株式数（発行済優先株式）

当期末株式数（発行済優先株式）

### 一株当たり情報に関する注記

#### 一株当たりの情報

一株当たり純資産額 523,041.72円

一株当たり当期純利益 4,405.10円

## 監 査 報 告 書

私は、株式会社道の駅あいの土山の事業年度（令和3年10月1日から令和4年9月30日まで）の会計監査及び業務監査を行ないました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法の概要

私は、使用人等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、業務報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書の監査を実施しました。

### 2. 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和4年11月 14日

株式会社道の駅あいの土山

監査役  
谷口 三彦

監査役  
高須 良幸

※監査役の押印については、個人情報保護の観点から印影を抜いております。  
印影については、監査報告書の原本に頂戴しております。

# 第25期事業計画書

(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

株式会社道の駅あいの土山

滋賀県甲賀市土山町北土山2900番

## 第 25 期事業計画書（案）

1. 道の駅の 3 つの機能である「休憩機能」「情報発信機能」「地域との連携機能」の更なる充実を図り、自由に立ち寄れ、快適に休憩ができる宿駅を目指し、安定した経営ができるよう努力します。
2. 販売商品については、地元特産品を中心とし、安全安心でお客様のニーズに合った商品販売に努めます。また、甲賀市のブランド化された商品の販売、PR に努めます。
3. 市の観光イベント・文化・歴史・名所・特産品を紹介する情報の発信に努めます。
4. マスメディア等の活用をはじめ、商工会、観光協会、宿泊施設、近隣の道の駅との連携を図るなど、積極的なPR を行い、集客の増加に努めます。
5. 筆頭株主である甲賀市から、今後提案される当施設の改善策と調整を図りながら、一層の利用促進と安定経営を図ります。

第25期 株式会社 道の駅あいの土山 予算書  
(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

(単位:円)

収益

区 分	科 目	今期予算額	前期予算額	比 較	備 考
売上高	物産館売上高	62,000,000	62,000,000	0	
	レストラン売上	22,400,000	22,400,000	0	
受託費	雑収入	509,259	509,259	0	甲賀市指定管理料
雑収入	雑収入	1,650,000	1,650,000	0	手数料他
合 計		86,559,259	86,559,259	0	

原価及び費用

区 分	科 目	今期予算額	前期予算額	比 較	備 考	
仕入高	物産仕入高	42,000,000	44,025,000	△ 2,025,000		
	48,600,000 レストラン仕入高	6,600,000	8,717,000	△ 2,117,000		
人件費	物産給与	11,000,000	10,500,000	500,000		
	18,870,000 レストラン給与	5,300,000	5,100,000	200,000		
		賞与	1,100,000	1,000,000	100,000	
		福利厚生費	1,470,000	1,400,000	70,000	社会保険料等
事務費	旅費交通費	30,000	30,000	0		
	74,000 通信費	14,000	14,000	0		
		交際費	30,000	30,000	0	
事業費	減価償却費	1,700,000	1,905,000	△ 205,000	前期の設備投資により	
	7,500,000 消耗品費	3,500,000	2,700,000	800,000		
		租税公課	2,000,000	1,700,000	300,000	消費税等
		広告宣伝費	300,000	300,000	0	
管理費	修繕費	170,000	170,000	0		
	10,470,000 水道光熱費	6,300,000	4,800,000	1,500,000	水道代、電気代等	
		燃料費	100,000	50,000	50,000	
		消耗品費	300,000	300,000	0	
		管理諸費	3,500,000	3,500,000	0	トイレ管理費等
		雑費	100,000	100,000	0	
合 計		85,514,000	86,341,000	△ 827,000		

当期純利益

区 分	科 目	今期予算額	前期予算額	比 較	備 考
当期純利益	当期純利益	1,045,259	218,259	827,000	

報告第2号

議会の委任による専決処分の報告について

和解及び損害賠償の額を定めることについては、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により専決処分したから、同条第2項の規定によりこれを報告する。

令和5年2月16日

甲賀市長 岩 永 裕 貴

専決第10号

和解及び損害賠償の額を定めることについて

次のように道路管理瑕疵事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定に基づき、専決処分する。

令和4年12月23日

甲賀市長 岩永裕貴

5,450円

(参考) 令和4年10月25日、甲賀市土山町大野地先の市道新里線において、舗装の窪みに起因する事故により、相手方の車両を損傷させたことによる損害賠償金である。

報告第2号 参考資料

議会の委任による専決処分の報告について

(和解及び損害賠償の額を定めることについて)

次のように道路管理瑕疵事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定に基づき、専決処分した。

【概要】

令和4年10月25日、甲賀市土山町大野地先の市道新里線において、舗装の窪みに起因する事故により、相手方の車両を損傷させたことによる損害賠償金である。

【賠償金】5,450円

【示談日】令和4年12月23日



報告第3号

議会の委任による専決処分の報告について

和解及び損害賠償の額を定めることについては、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により専決処分したから、同条第2項の規定によりこれを報告する。

令和5年2月16日

甲賀市長 岩永裕貴

専決第11号

和解及び損害賠償の額を定めることについて

次のように市有自動車の運転事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定に基づき、専決処分する。

令和4年12月26日

甲賀市長 岩永裕貴

616,000円

（参考） 令和4年8月19日、甲賀市甲南町希望ヶ丘本町地先の丁字路において、市有自動車及び相手方自動車双方の不注意による事故により、相手方車両を損傷させたことによる損害賠償の額を定めたもの。

## 報告第3号 参考資料

### 議会の委任による専決処分の報告について

(和解及び損害賠償の額を定めることについて)

次のように市有自動車の運転事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定に基づき、専決処分した。

#### 【概要】

令和4年8月19日、甲賀市甲南町希望ヶ丘本町地先の丁字路において、市有自動車及び相手方自動車双方の不注意による事故により、相手方車両を損傷させたことによる損害賠償の額を定めたもの。

【賠償金】616,000円

【示談日】令和4年12月26日

#### 位置図

